









# 令和元年 **9** 月の大阪森林便り

## 目次

- (1)  吉野杉 耐震性見える化 木材利用促す
  - (2)  木の命 切って生かす 空師に信念
  - (3)  合板輸入 6月 18%減 2か月連続の低水準
  - (4)  銀座に 12 階建て木造ビル
  - (5)  アマゾン火災、対立深く
  - (6)  住宅用製材品 軒並み安 流通価格
-  **今月の木の話**    **沈む木の横綱**    **リグナムバイタ、軽い木の旗頭バルサ**




- (1)  吉野杉 耐震性見える化 木材利用促す

奈良川上村と京大など

\* 木造住宅の耐震性能を明らかにして木材の利用を促そうと、奈良県川上村と京都大学の生存圏研究所などが連携協定を結びました。

(2019年8月8日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

- (2)  木の命 切って生かす 空師に信念

\* 大木や難所の木を伐採する「空師（そらし）」。現代日本に数十人。

・ 山林で材木を伐りだした杣人（そまびと）の伝統を継ぐともいわれます。

\* 「人より長く生きる木は神秘的に感じられるが、木にも寿命はある。木は切ってこそ生きる。」

\* 「木は切って終わりではなく、木材として使われてこそ意味がある。」


### 安い輸入材流入

\* 杉の木材価格は 1M3 当たり 39,600 円だった 1980 年をピークに下がり続け、2017 年は 13,100 円に。3 分の 1 の水準。

\* 2015 年時点の林業従事者は約 45,000 人で、25 年前（10 万人）の半分以下。

・ 4 人に 1 人が 65 歳以上。

(2019年8月16日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

- (3)  合板輸入 6月 18%減 2か月連続の低水準

## 型枠用には欠品も

\*コンクリート型枠用合板の輸入が低調。

・6月の輸入量は189,959M3と、前年同月に比べ18%減。5月に続く低水準。

\*5月まで港湾在庫に積み上がっており、商社が調達を手控えた影響。

(2019年8月22日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

### (4) 銀座に12階建て木造ビル

\*ヒューリックは2021年9月、東京銀座で地上12階建ての木造の商業ビルを完成させます。

・竹中工務店が2020年1月に銀座で着工。

・震度7程度の地震でも倒壊する恐れがないといいます。

・建設費は通常のビルに比べて2割程度高くなる見通し。

\*木造の高齢者施設を展開することも検討。

(2019年8月29日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



### (5) アマゾン火災、対立深く

欧州、森林開発を問題視／ブラジル反発 欧米企業、輸入停止も

\*ブラジル北部アマゾン地域の森林火災が拡大する中、ブラジルと欧州が対立。

\*経済成長を優先するブラジルのボルソナロ政権は森林開発を進め、アマゾンを保護すべきだと主張する欧州に「内政干渉だ」と強く反発。

\*ブラジルでは乾期の森林火災は珍しくありません。

\*火災の多くは焼き畑の火が燃え移ったことが原因。

\*7月の森林伐採面積は、前年同月比3.8倍。

(2019年8月30日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



### (6) 住宅用製材品 軒並み安 流通価格

米中での需要減映す

\*木造住宅の梁や柱などに使う製材品の流通価格が軒並み下落。

・欧州産集成材の米国や中国の需要が鈍りました。

・経済連携協定（E P A）発効の効果や円高・ユーロ安も映して国内価格が下落。

・北米産米松を使った平角も国内最大手がシェア確保を狙って出荷価格を下げました。

\*集成平角は、前月比 2%下落。値下がりは 2016 年 3 月以来、約 3 年 5 か月ぶり。

\*集成管柱も前月比 3%安く、2015 年 5 月以来の値下がり。

\*米松 KD 平角は、前月に比べて 3%安。2016 年 5 月以来の値下がり。

**北米産丸太 下げ決着 対日価格 8 月積み、4 か月連続**

\*北米産丸太の対日輸出価格は 2018 年秋以降値下がり傾向。

・8 月積みの価格交渉は 4 か月連続の引き下げで決着。

・前月比 1%安く、1 年前比では 19%値下がり。

・約 3 年ぶりの安値圏。

(2019 年 8 月 31 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



## 今月の木の話

### 沈む木の横綱 リグナムバイタ、軽い木の旗頭バルサ

\*比重によって沈む木と浮く木があります。

\*沈む木の横綱格に中南米産の木材でリグナムバイタという、大変重たい木があります。

・材質も硬く、比重が 1.17~1.23 もあります。

・耐摩耗性に優れています。

\*比重の軽い方の旗頭はバルサ材。

・熱帯アメリカ産で比重は 0.1 か 0.2 くらい。

・重さの割に強くて、模型飛行機の部材や魚釣りの浮き、救命具にも利用されています。

\*桐も比重が軽いものの一つです。

※比重：木材の単位容積当たりの重量を示す値。

・生材の状態、気乾の状態、全乾の状態と、おおまかに 3 つに分類されます。

・通常の大気状態における平衡含水率を気乾含水率と呼びます。

(日本林業調査会「木材に強くなる本」より抜粋・引用)

